

利根川水系及び荒川水系のダム等の現状についてお知らせします

～少雨、猛暑の中、毎日ダム等からの用水補給が続いています～

関東地方 1 都 5 県の水源となっている利根川水系及び荒川水系では、本年 6 月から降水量の少ない状態が続いています。これに伴い、河川の流量も減少していることから、農業用水や都市用水等に必要な水量を補うために、ダム等から多くの放流を行う日が続いています。利根川水系及び荒川水系のダム等の貯水量は、すでに過去の平均を下回っており、その中でも利根川本川の 9 ダム合計の貯水率は 50 % を下回っている状況です。

今後は、農業用水などの水需要が、だんだんと減少していく時期を迎えますが、猛暑が続く特異な気象状況であることを踏まえ、ダム等を管理する関東地方整備局及び水資源機構では、引き続き慎重に水運用を行って参ります。

なお、ダムに貯留された水資源には限りがあります。皆さま方の日頃からの節水に感謝申し上げますとともに、今後も引き続きのご協力をお願いします。

《9 月 1 日 0 時 ダム等の貯水状況》

利根川 9 ダム合計 貯水量 16,439 万 m³、貯水率 45 % (過去平均の 62 %)

鬼怒川 4 ダム合計 貯水量 10,024 万 m³、貯水率 71 % (過去平均の 85 %)

荒川 4 ダム合計 貯水量 5,237 万 m³、貯水率 80 % (過去平均の 85 %)

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ 東京都庁記者クラブ
千葉県政記者会 茨城県政記者クラブ 栃木県政記者クラブ 刀水クラブ・テレビ記者会 水資源記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 河川部 電話：048-601-3151 (代表) FAX：048-600-1379

河川環境課 課長 藤原 (ふじわら) (内線：3651)

建設専門官 田島 (たじま) (内線：3652)

水資源機構 電話：048-600-6543 (直通)

危機管理監付 課長補佐 鈴木 (すずき)

利根川水系及び荒川水系のダム等の現状について

令和7年9月1日

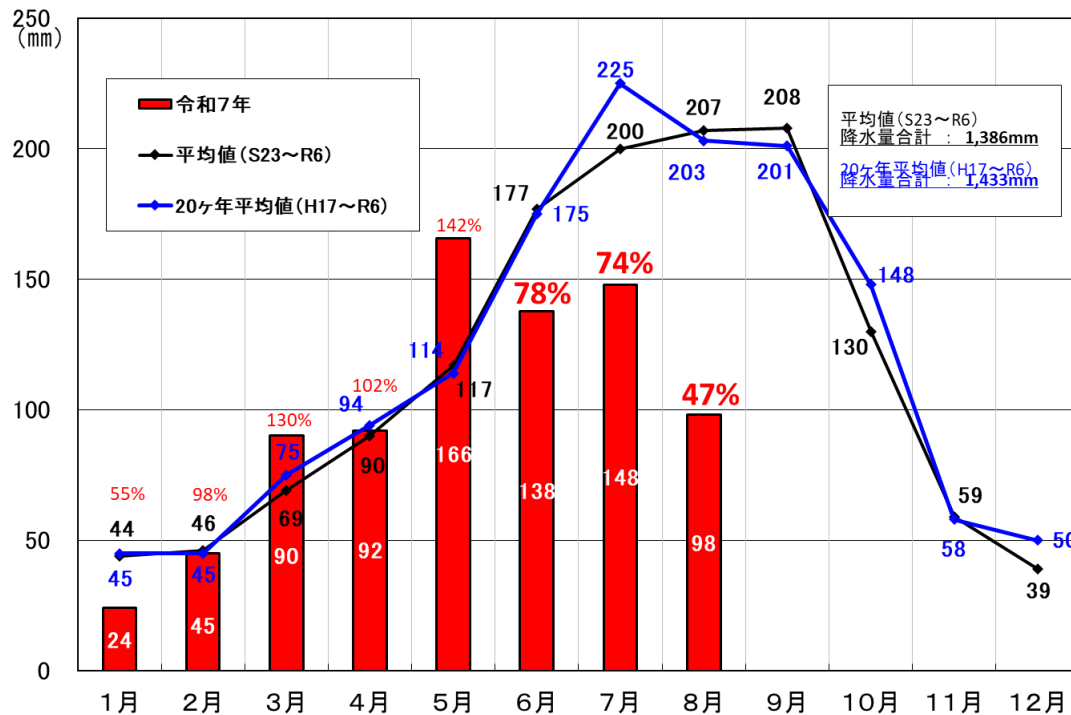
関東地方整備局

1. 利根川上流9ダム等の現状

(1) 利根川

1) 栗橋地点上流域平均降水量の状況（令和7年9月1日0時までの降水量）

（図－1 参照）

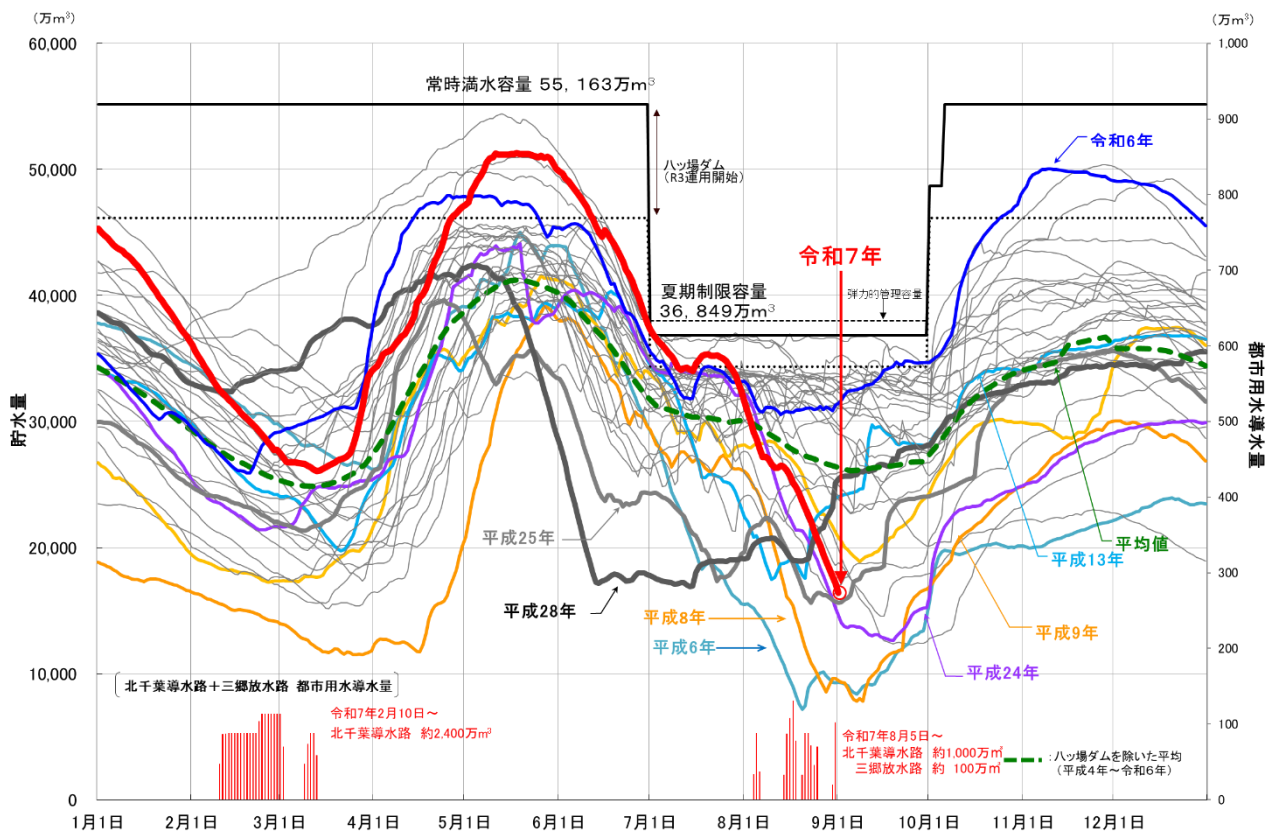


図－1 利根川栗橋地点上流域平均降水量（令和7年9月1日0時まで）

2) 利根川上流9ダムの貯水状況等（令和7年9月1日0時現在）

9月1日0時時点の合計貯水量は16,439万m³（貯水率45%）となっています。

（図－2 参照）

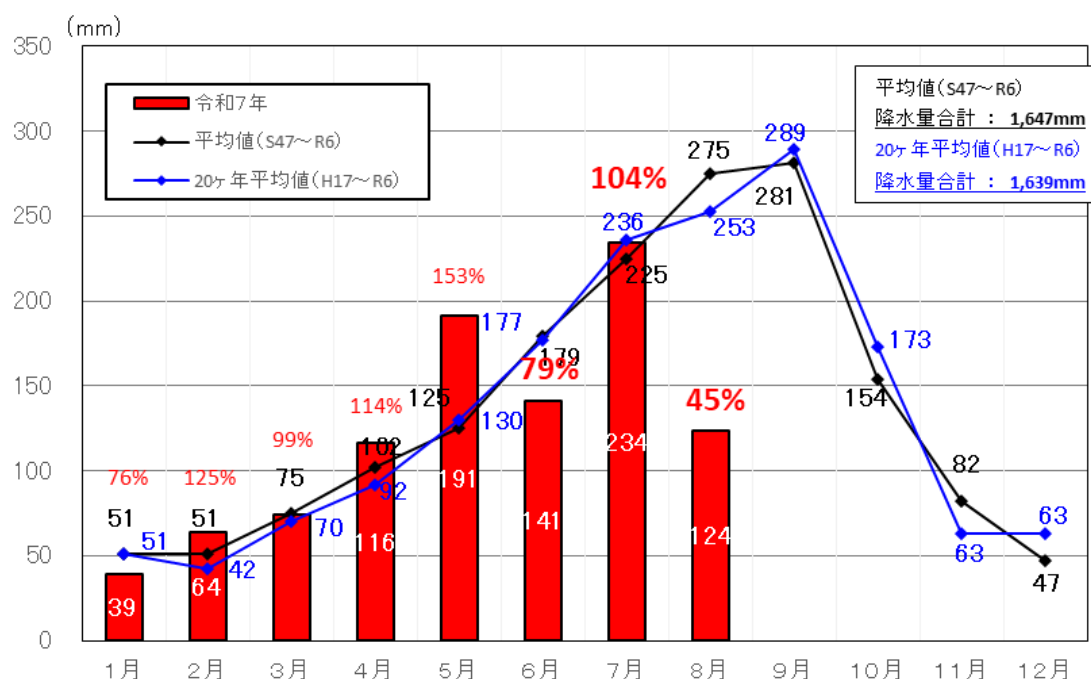


図－2 利根川上流9ダム貯水容量図（令和7年9月1日0時現在）

(2) 鬼怒川

1) 佐貫地点上流域平均降水量の状況（令和7年9月1日0時までの降水量）

（図－3 参照）

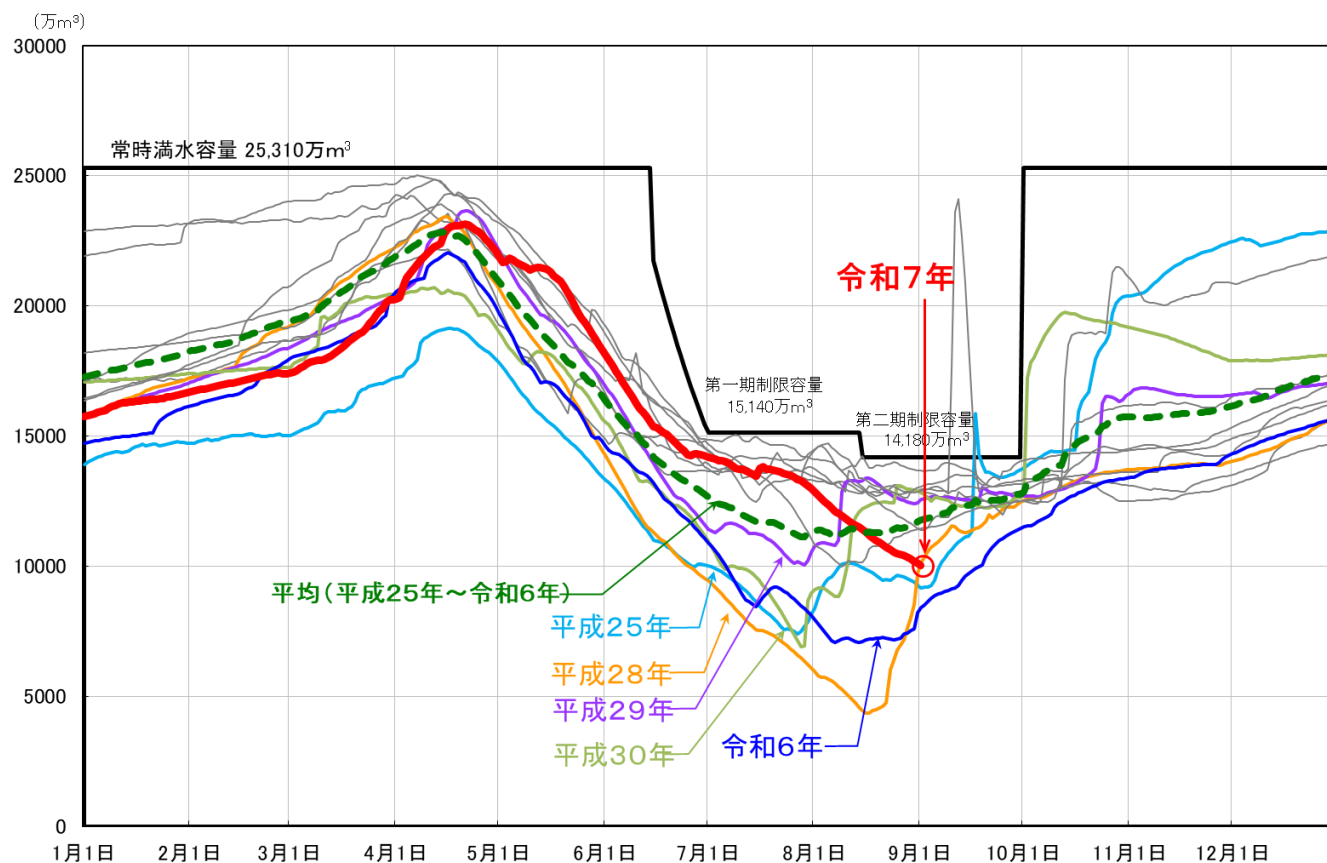


図－3 鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量（令和7年9月1日0時まで）

2) 鬼怒川上流4ダムの貯水状況等（令和7年9月1日0時現在）

9月1日0時時点の合計貯水量は10,024万m³（貯水率71%）となっています。

（図－4 参照）

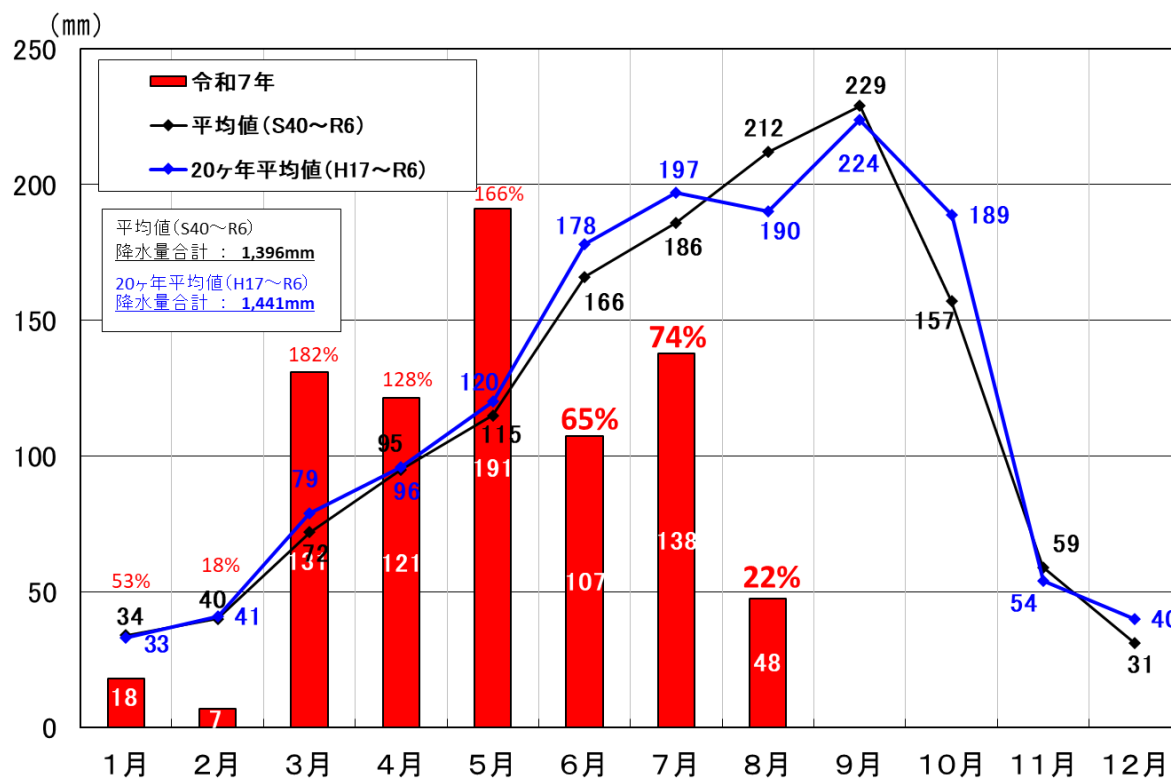


図－4 鬼怒川上流4ダム貯水容量図（令和7年9月1日0時現在）

(3) 荒川

1) 秋ヶ瀬地点上流域平均降水量の状況（令和7年9月1日0時までの降水量）

（図－5 参照）

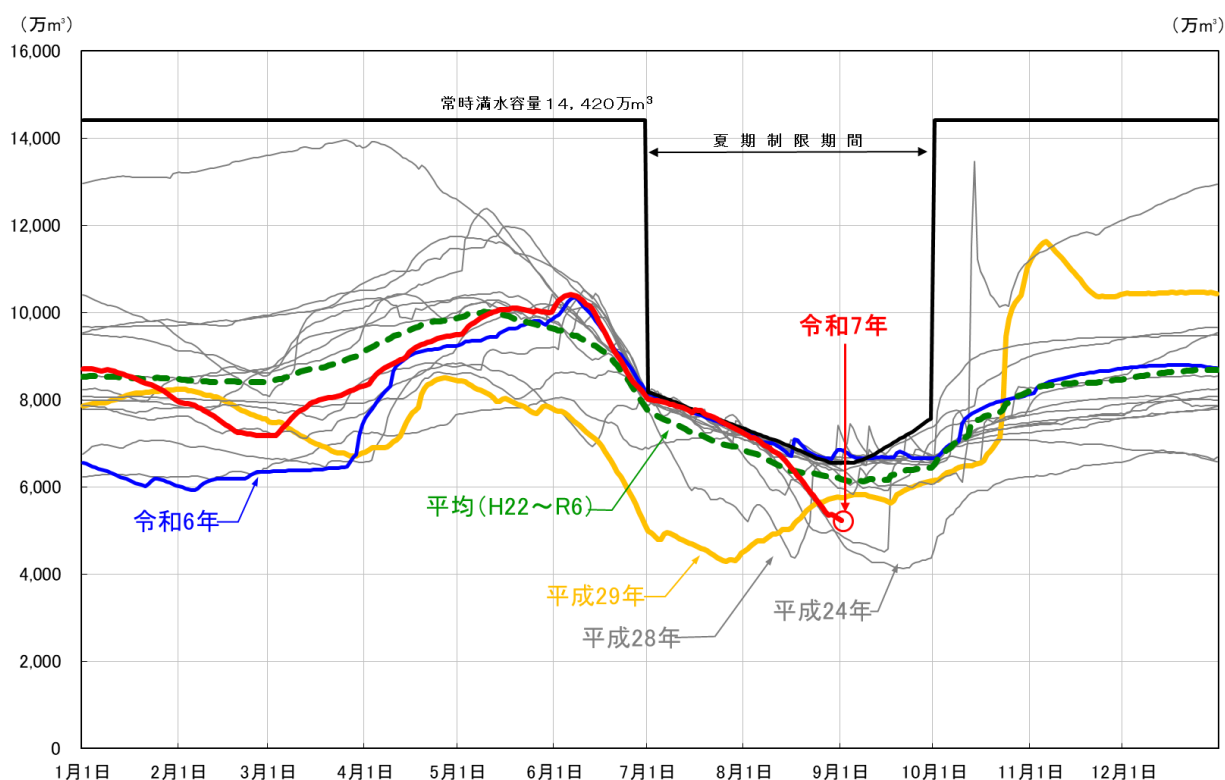


図－5 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和7年9月1日0時まで）

2) 荒川上流4ダムの貯水状況等（令和7年9月1日0時現在）

9月1日0時時点の合計貯水量は5,237万m³（貯水率80%）となっています。

（図－6 参照）



図－6 荒川上流4ダム貯水容量図（令和7年9月1日0時現在）